

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	アドベンチスト福祉会 ベーテルの夢Ⅱ（児童発達支援）			
○保護者評価実施期間	2025年2 月 3日 ～ 2025年 3月 7日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数)	1名
○従業者評価実施期間	2025年2 月 17日 ～ 2025年 3月 7日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数)	1名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月18 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援計画や方向性について、職員と情報共有を行い、よいチームワーク（職員間の良い関係性）で支援を行っている （保育士・養護教諭経験者・社会福祉士・公認心理師 専門講師（助産師【性教育】・歯科衛生士・運動・音楽・キャリア教育）	- 職員同士の交流を大切にし、頻繁な会議を行っている - 専門的視点から児童の支援を行い、児童の育ちを支え、強みを引き上げることができるようチームで共有	支援計画を定期的に見直し更なる充実を図る
2	保護者とのよい関係性	- 自然の中で自ら楽しみを見つけて遊べるように、畑での炊き出しや焼き芋など、こどもが創造したり、集中して遊ぶことを支援している - 工芸・いちご狩り・餅つき・カフェ体験等など・・・さまざまな体験を提供している	事業所ので様子を写メなどを保護者に送信することを充実させる
3	自然の中で意図して活動することで、人と環境の相互作用による育ちや多様な実体験を意図して行っている	- 自然の中で自ら楽しみを見つけて遊べるように、畑での炊き出しや焼き芋など、こどもが創造したり、集中して遊ぶことを支援している - 工芸・いちご狩り・餅つき・カフェ体験等など・・・さまざまな体験を提供している	今後も児童がわくわく楽しめる活動を企画する

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・第三者評価の実施が出来ていない	第三者評価に至るための事業所の体系的な取り組みが課題	業務マニュアルの充実化をおこなっていく
2	・事故防止や緊急時対応、防犯対応について 保護者へ周知不十分	・保護者向けの情報発信のためのマンパワー不足や 意識不足が考えられる	保護者が安心して事業所に預けることができるように 安心・安全の見える化を工夫して発信できるようにす
3			